

長崎市の路面電車について



長崎市の概要

位置:九州北西部

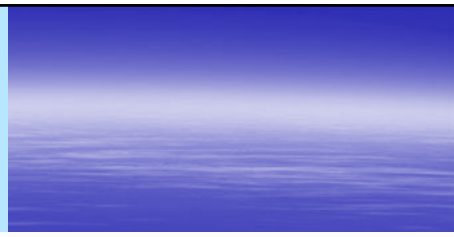
面積:約406 km²

人口:約44万人

中核市



運行事業者:長崎電気軌道(株)
 営業開始:大正4年
 車両数:80両
 主要系統:4系統



沿線には様々な観光施設があり、
 中心部のほとんどの観光地には
 路面電車でアクセスできます。

様々な車両(各都市からの移籍多数有り)



超低床式路面電車の導入支援



長崎市交通バリアフリー基本構想に基づき、事業者が行う超低床式路面電車の導入に対して補助(公共交通移動円滑化設備整備費補助)

路面電車停留所改善支援事業



上屋、防護柵、スロープ、
手すり、誘導ブロック、
横断歩道、信号機等の設置。



バス停と電停の共同化
(大浦天主堂下)

路面電車の待合環境や都市景観の向上、バリアフリー化への対応を図るため、平成10年度から18年度に実施。18電停(33箇所)を整備

路面電車停留所とバス停の共有化



センターポール事業



路面電車の安全で円滑な運行を確保するため、電線類地中化事業に併せたセンターポール化、中央分離帯の設置、交差点における右折帯を設置

歩道橋撤去事業



公会堂前（改良前）



公会堂前（改良後）

路面電車の利便性向上とバリアフリーの観点から歩道橋でアクセスする電停について平面的にアクセスできるように歩道橋を撤去。現在までに7箇所を改良。



